

令和 2 年 6 月 3 0 日 (火)

研究種別	総理研究 ・ 成長戦略研究 ・ 重点化研究	
研究課題名	薬用植物の種苗生産方法の確立に関する研究	
研究期間	平成 2 9 年度 ~ 令和元年度	
	評価項目	評価点
1	研究目標の達成度	3.5
[評価所見]		
<p>ヒロハセネガとオタネニンジンについては、それぞれ発芽率と成苗率を向上させ、実用レベルでの栽培が開始されており、当初の研究目的をほぼ達成したと考えられる。</p> <p>ウラルカンゾウにおいては、目標とした開花率向上が未達成であり、更なる検討が必要と思われる。</p> <p>薬草という観点では、最終的に有効成分量が問題であり、反復や繰り返しを考慮した実験を適切に計画し、データのばらつきの原因を明らかにして、データの再現性を向上させることが必要だと思われる。</p> <p>国民の健康指向の高まりの中、県内での薬用植物の栽培強化はあるべき方向と考えられ、医薬品への使用を推進するために、企業などへの具体的な取り組みが求められる。</p> <p>栽培農家が広がるよう、作成された栽培マニュアルを活用した農家などへの指導、市場動向を含めた情報提供に努めて頂きたい。</p>		